

# 「市民ギャラリー、茅ヶ崎駅前市民窓口センター及び萩園市民窓口センターの廃止等並びにネスパ茅ヶ崎ビル等の今後の利活用に関する方針（素案）」についてのパブリックコメント実施結果

—ご協力ありがとうございました。—

1 募集期間 令和4年6月22日（水）～令和4年7月21日（木）

2 意見の件数 92件

3 意見提出者数 45人

## 4 意見提出者年齢

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
人数	人	人	人	2人	5人	6人	31人	1人

## 5 内容別の意見件数

	項目	件数
1	素案全体に関する意見	9
2	施設の概要及び今後の方向性（案）に関する意見	1
3	市民ギャラリーの廃止に関する意見	54
4	市民窓口センターの廃止に関する意見	16
5	廃止後の方向性（案）に関する意見	2
6	廃止等にかかるメリット・デメリット（まとめ）に関する意見	1
7	廃止等による効果見込額に関する意見	1
8	パブリックコメント全般に関する意見	2
9	その他の意見	6
合計		92

=一部修正を加えた項目

※上記一部修正を加えた項目以外に、本方針素案の「1 背景及び目的」にパブリックコメント後の経過等について追記を行っております。

※方針のうち、「図書業務（配本所）」に関する部分については、令和4年9月8日に結果公表しており、方針変更の検討を要する御意見がなかったことから、「図書業務（配本所）」に関する部分の方針変更は行わず、令和5年4月に図書業務の機能移転が行われております。そのため、本方針素案に記載のありました「5 図書業務（配本所）の機能移転」及びそれに関する事項については削除しています。

茅ヶ崎市経営総務部資産経営課資産経営担当（公共施設マネジメント・利活用に関すること）  
文化スポーツ部文化推進課生涯学習担当（市民ギャラリーに関すること）  
市民部市民課戸籍住民担当（市民窓口センターに関すること）  
電話 0467-82-1111（代表）

## (意見及び市の考え方)

### ■素案全体に関する意見（9件）

#### (意見1)

今回提案されている取組は、今後の茅ヶ崎市の状況を踏まえた上で、とても有意義、かつ、今後必ず必要になってくる取組だと思います。

素案に書かれている、人口減少・少子高齢化・公共施設等の老朽化を踏まえると、茅ヶ崎市が全ての公共施設を維持するというのは、私のような素人が考えても、とても難しいことだと理解できます。

多くの公共施設がある中で、選択と集中により、限りある資源を有効に使い、公共サービスを維持することが、市役所の責務です。そのためには、様々な意見があったとしても、その目的のために、確固たる意志をもって、今回のような一歩踏み込んだ施策を実施して欲しい。

施設利用者からは、恐らく反対意見が出ると思います。他の街でも反対運動で公共施設の見直しがとん挫している報道を見かけることがあります。しかし、市民全体からすれば、ほんの一握りの意見です。市民アンケートの結果でも、それは明らかです。市民全体の意見として、選択と集中が正しいという意見にも関わらず、少数利用者の意見だけにひっぱられた意思決定は絶対にしないで欲しい。

少数意見の反映によって、公共施設の維持が出来なくなり、以前あったトンネル事故のように、最悪の場合、市民の命を危険にさらすようなことは絶対にしないでください。

今後の取組に期待しています。応援しています。

#### (意見2)

- ・市内の公共施設全般ももっと見直してください。
- ・茅ヶ崎市全体としての財政事情の悪化は理解できますが、従来・過去のハコモノ行政のつけが今になって現れ、市民サービスの低下は納得できません。
- ・市内の公共施設等全般を見直しした上の今回のギャラリー廃止なののでしょうか？ただ一方的な小さな施設だけを狙ったトカゲのしっぽ切りとしか理解できません。※市内の公共施設は（文化教育関係）公民館5か所、コミュニティセンター12か所、スポーツ施設（体育館、プール、スポーツ広場等）（※文化会館、美術館、図書館除く）他、記念館、人物館、勤労会館、老人福祉センター等々 以上の公共施設全般を見直しての廃止（案）のでしょうか。

#### (意見3)

今回、初めてパブリックコメント投稿に参加します。茅ヶ崎市政の現状認識が優先ではないのでしょうか。茅ヶ崎市は市役所の立て直しから始まり直近では柳島スポーツ

公園、数年後「道の駅」構想等、公共施設建設が目白押しになっています。色々建設はするが、市民にやさしい、住みやすい茅ヶ崎にすることに対しては遅れています。コロナ禍において、人口が増加しました。なぜ茅ヶ崎は名前が取敢えず有名です。

しかし、市民の生活実態は最悪ではないでしょうか。もっと市民のために税金を使う方法に変えることを節にお願いします。

#### (市の考え)

本市では、今後一斉に更新時期を迎え、多額の財政負担が見込まれる公共施設等について、後年度の世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な行政運営の実現による安全・安心な市民サービスを提供していくために、様々な取組を行っていくことが急務となっています。このため、令和4年3月に策定した「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）」に基づき、全ての公共施設等及び市有財産を対象に公共施設の統合・複合化・廃止・利活用の検討を行っております。その取り組みの中で今回、ネスパ茅ヶ崎ビル（3階～5階）及び萩園市民窓口センターほか複合施設について市民サービスの見直しを行い、利活用について検討することとなりましたが、今後も様々な公共施設等に関する見直しの取り組みを引き続き行ってまいります。

#### (意見4)

令和4年5月に初めて廃止の話を耳にし、6月には利用している代表者がパブリックコメントを出し、現在に至るが、この話を各方面の方々に伺う限り、この計画は既に、以前から進めておられており、令和5年10月には撤去の作業に入り、貸付する業者を決定するという。怒涛の計画推進のルールを私達一般の市民を唾然とさせ、何も出来ない様な無念さを感じた。このような市の制作の推進ルールと進め方は今後、市政に不信感を持ち、とても残念な気持ちにさせられた。

#### (市の考え)

本事業スケジュールは、公共施設等の見直し及び利活用の取り組みを計画的に実施するために作成したものです。

本パブリックコメントを実施した後、「市民ギャラリー、茅ヶ崎駅前市民窓口センターの廃止に関する方針の変更を求める陳情」「萩園市民窓口センター」の廃止についての変更を求める陳情」が提出され、いただきましたご意見について、改めて市民の皆様のご意見をいただく必要があると判断し、本パブリックコメントの結果の公表について延期し、オープンハウスによるご意見募集や利用者説明会を実施してまいりました。

本パブリックコメントに寄せられたご意見、また、その後に実施いたしましたオープンハウスや利用者説明会等でいただきましたご意見を考慮し、本方針を検討してまいりました。

#### (意見5)

P26 他 財政上のみでなく市民ニーズ含め考えて。なんでもかんでもその為に廃止しないで。

(市の考え)

市民ギャラリーにつきましては、市民アンケート及び利用者への意見募集の双方を実施しており、総合的なご意見を伺うことができたと考えております。

市民窓口センターにつきましては、平成23年2月策定の「窓口サービス提供のあり方」において、出張所の整備及び市民窓口センターの統廃合を進める方針となっており、出張所の整備が完了したため、現存する2箇所の市民窓口センターを廃止するものです。

また、本パブリックコメントを実施した後、「市民ギャラリー、茅ヶ崎駅前市民窓口センターの廃止に関する方針の変更を求める陳情」「萩園市民窓口センター」の廃止についての変更を求める陳情」が提出され、いただきましたご意見について、改めて市民の皆様のご意見をいただく必要があると判断し、本パブリックコメントの結果の公表について延期し、オープンハウス等によるご意見募集や利用者説明会を実施してまいりました。

本パブリックコメントに寄せられたご意見、また、その後に実施いたしましたオープンハウスや利用者説明会等でいただきましたご意見を考慮し、本方針を検討してまいりました。

(意見6)

茅ヶ崎市は今人口が増えたり、地価が非常に上がったり（日本）していると聞く。P1 背景及び目的と矛盾（相反）していると思う。もう一度現状をよく分析して進めて欲しい。

市民ニーズも再検討した上で進めて欲しい。

(市の考え)

コロナ禍における働き方の変化等により、湘南周辺地域の人口が増加していると言われておりますが、長期的な視点では「1 背景及び目的」に記載したとおり、今後、人口減少及び少子高齢化等の社会情勢の大きな変革が予測されます。

こうしたことを踏まえまして、「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改定版）」に基づき、公共施設等の統合・複合化・廃止・利活用等の検討を引き続き行ってまいります。

また、公共施設等の統合・複合化・廃止・利活用等の検討を行うに当たっては、様々な手法を活用しながら市民ニーズを把握した上で実施してまいります。

(意見7)

今回のネスパ茅ヶ崎ビル及び萩園市民窓口センターほか複合施設において提供している市民サービスの見直しに関しては、納得がいきません。

議会の全員協議会において、行政側が説明された時点で、十分な市民の声を聞いていないにもかかわらず、この施策は絶対に実施しますと言われたと複数の議員から聞きました。市民に対して十分な説明や意見を聞いての検討でないにもかかわらず、独断での横暴な施策を推進するという事ならば、素案に記載があるように、現在施設等を利用している人たちへの代替え施設を、責任をもって提示するべきだと思います。

方針では、「市民ギャラリーについては、5割程度の利用率で推移していましたが、

平成30年度から利用率が減少傾向となっており、近隣にも類似機能を有する施設が存在することや、市の文化芸術の拠点である市民文化会館に利用者が集まることで文化活動の活発化が期待できることから、令和5年9月末に廃止します。」と記載されています。

そして、市民ギャラリーの廃止の理由として

(1) 廃止の理由

ア 利用率が元々低い水準で、新型コロナウイルスまん延の影響を受ける以前からさらに減少傾向にあるため(4)ア参照)。

イ 近隣に類似機能を有する施設が存在し、廃止後の影響が比較的少ないと考えられるため(2)参照)。

ウ 文化施設を集約することで得られる効果により、市民の文化活動の活発化が期待されるため(3)参照)。

(2) 市民サービスの補完

ア 貸館(展示室・会議室等) 市民ギャラリーは、美術作品の発表と鑑賞の場、創作活動の場、講習会等の場を提供し、市民文化の向上に寄与することを設置目的としていますが、廃止後は、同様の目的を掲げている市民文化会館をはじめとする近隣の施設へ機能集約することとします。なお、機能集約にあたり、市民ギャラリーと立地が比較的近い施設へ市民ギャラリーの備品を転用するなど、可能な限り利用者の利便性を維持できるよう努めます。また、これら施設は、時期によっては予約希望が多く重なることも予想されますが、利用率には余裕がありますので、今後、より詳細な施設情報を発信し、多くの方に利用いただけるよう努めます。と記載があります。

市民ギャラリーの展示室は、駅に近いためにいつも多くの市民団体が利用しており、コロナ禍になる以前は、日程を取ることも大変だった所です。今回その機能を文化会館の展示室等で賄うこととされていますが、ほんとうに市民が希望する日時に使うことができるのでしょうか。シミュレーションを実施して、大丈夫だとの確信があるとは思えません。

また、創作室の使い方についても他の施設で同じように使うことができるという確約がなく、簡単に大丈夫だろうと利用者の利便性を本当に考えたとは思えない対応がされています。

折角、学びの講座を実施し、多くの市民が文化的な活動を実施している場所を閉鎖すること自体、地方自治体の施策としては信じられません。

しかし、どうしてもというならば、その前に十分な具体的な対応措置を各市民団体に提示すべきです。それができないならば、この案は撤回すべきだと思います。

(意見8)

今ネスパ茅ヶ崎ビルの市民窓口や会議で使われている所は、代替物件が明確でない限り、継続をお願いします。

(意見9)

市民ギャラリー、駅前市民窓口センターをちょこちょこ利用しております。本庁まで行かなくて済むし、市民ギャラリーは市外から来る人に便利です。残して下さるようによい！

(市の考え)

・市民ギャラリーの類似機能を有する施設について

前述のとおり、本パブリックコメント実施後、オープンハウス等によるご意見募集や利用者説明会を実施してまいりました。本パブリックコメントに寄せられたご意見、また、その後に実施いたしましたオープンハウスや利用者説明会等でいただきましたご意見を考慮し、次のとおり進めてまいります。

市民ギャラリーと全く同じ立地・機能とまではいきませんが、駅に近い市民ギャラリーから半径600m圏内の展示機能やアトリエ機能等、類似の機能を有する施設があることから、ご利用される方の活動に合う施設を御選択いただけるよう、市民ギャラリーの近隣施設を中心として、類似機能を有する施設の詳細情報について市ホームページに掲載しており、今後も引き続き周知を行ってまいります。

また、市民ギャラリー備品について、引き続き御使用いただけるよう他の近隣施設への転用を検討いたします。なお、市民文化会館は毎月1日1年後の予約の抽選会があり、抽選会に参加される利用者は少ない傾向です。その他近隣施設についても、一部利用希望の多い月や曜日などの偏りはございますが、利用可能な枠もありますのでぜひ御利用いただければと考えています。

創作室については、今までに行ってきた利用者との意見交換会等においていただきました、希少性に関する意見等のご指摘を踏まえ、当初から紹介していた施設に加え、市民文化会館会議室に創作機能を付加する改修案を検討してまいります。

また、改修案の検討にあたっては創作室の利用者等に意見を伺いながら進めてまいります。

3階会議室及び4階展示室は類似機能を有する施設が近隣にあることから、令和6年12月末で廃止とし、5階創作室については引き続き利用者との意見交換等を行いながら、廃止時期を未定として当面の間運営し、段階的に対応することといたします。

・市民窓口センターについて

平成23年2月策定の「窓口サービス提供のあり方」において、市内3箇所地区拠点に出張所を整備し、それにあわせて各市民窓口センターを段階的に出張所及び本庁舎に統合する方針となっています。

このような中、主なサービス対象である証明書等の取得については、近年の制度改正等により大きく状況が変化してきており、マイナンバー制度による情報連携の進展により、行政手続の際の住民票等の添付の必要性が減少してきていること、戸籍事務にマイナンバー制度が導入され、令和5年度中には多くの行政手続において戸籍謄抄本の添付が原則不要になるなど、証明書等の取得の必要性がさらに減少していく見込みとなることから、令和6年3月末に廃止します。

証明書等が必要な場合についても、マイナンバーカードを使用して、住民票の写し

及び印鑑登録証明書を午前6時30分から午後11時までの間、コンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン及びファミリーマート)で取得できるほか、24時間利用可能なe-kanagawa電子申請では、戸籍謄抄本や戸籍の附票、税証明などをスマートフォンなどからマイナンバーカードを読み込み、申請後に、郵送で取得することが可能となっております。

#### ■施設の概要及び今後の方向性(案)に関する意見(1件)

(意見10)

P.3 多目的室の扱いが記載無いようですので記載又は補足も願います。

(市の考え)

平面図に記載されている「多目的室」は、「ふれあいロビー」のことです。平面図を「ふれあいロビー」に修正いたします。

#### ■市民ギャラリーの廃止に関する意見(54件)

(意見11)

数年に亘り、市民ギャラリーを利用させていただいている者として、申し上げます。

創作室BCは、絵を描くスペースに洗い場や机、いす、イーゼルや照明等々、使い易くよく考えられた施設です。展示会に於いてはどなたにも駅が近い事で遠方から足を運んでもらえます。特に年配者にとっては好都合です。駅近くに文化施設を置くことは、市民の交流を豊かにし、経済効果もあると思われます。利用料金を改定し、利用する側の負担もある程度やむを得ないと考えます。使用の継続を今まで通りお願いいたします。

(意見12)

今回の市民ギャラリー施設等の廃止は絶対反対です!!

(理由)

- ・駅直結で非常に利便性が高い・高齢者が集まりやすい、ささやかな趣味の場を奪うな。
- ・従来から創作室、展示場も設備が整っており、満足
- ・最悪の場合使用料の値上げも選択肢では?

市民の多様な意見を的確に把握し、市民のサービス向上と行政運営をお願いします。

(意見13)

いつも市にはお世話になっています。しかし、今回の市民ギャラリーの廃止については大変残念に思います。市でリーズナブルな値で室をお貸しくださっている事に大変有難い事とおもっておりましたのに、これからはどこか探さなければなりません。どうぞ廃止はとりやめて下さい。

(意見14)

市民ギャラリーは、充実した機能、十分なスペース、アクセスの至便さにおいて、他の施設にない大きな価値があります。とりわけ創作室は貴重な存在です。茅ヶ崎市が誇る高齢化時代の生涯学習支援施設としてぜひ存続させていただきたく、強く要望します。

財源の補陳として、文化施設使用料の見直し、文化施設呼称への命名権の活用もご検討ください。

(意見15)

利用が減っているなら、増やす努力こそすべきです。利用料を少し上げて良いのではないかと考えます。

(市の考え方)

本市では、今後一斉に更新時期を迎え、多額の財政負担が見込まれる公共施設等について、後年度の世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な行政運営の実現による安全・安心な市民サービスを提供していくために、様々な取組を行っていくことが急務となっています。このため、令和4年3月に策定した「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）」に基づき、全ての公共施設等及び市有財産を対象に公共施設の統合・複合化・廃止・利活用の検討を行っております。

市民ギャラリーの運営コストですが、令和4年度を例にしますと、使用料収入「約240万円」、運営に伴う支出「約1,060万円」となり、支出が大きく上回っている状況です。今後も運営を継続する場合、使用料を値上げして収入を増加させたとしても、かなりの値上げをしない限り、支出が収入を上回り、運営コストが恒常的に発生することとなります。

本市の上記のような状況の中、市民ギャラリーは近隣に類似機能を有する施設が存在し廃止後の影響が比較的少ないこと、利用率が減少傾向であること等から、廃止・利活用を進めるものです。

また、今回の廃止・利活用は、コスト削減だけではなく、同目的を掲げる市民文化会館等に機能を集約することで、文化生涯活動の活発化等の効果が見込めると考えております。

本回答公表の時点に合わせ、P.10「(4)市民ギャラリーの利用率・使用料等」に記載されている、実績値について令和4年度分を追記するとともに、次のとおり修正しました。

◆修正部分の対照表

修正後	修正前
令和3年度については、休館はなく、文化会館の展示室がワクチン接種会場となっていたこともあり、微増となりましたが、引き続き低い水準となりました。令和4年度については、利用率は若干の回復傾向が見	令和3年度については、休館はなく、文化会館の展示室がワクチン接種会場となっていたこともあり、微増となりましたが、引き続き低い水準となりました。

られますが、コロナ以前の平成30年度と比較して10%の差があります。

(意見16)

市民ギャラリーは、駅に近くどこからでも来やすい。

・子どもによる作品展示なども、減免などを使うことでやりやすい施設で、存続を望みます。

・代替として文化会館が挙げられていますが、市民ギャラリーの展示室を金土日の3日間、約80点の壁掛け作品を出展するとした場合で比較します。

資料では、減免と付帯施設について触れていません。これまで社会教育関係団体の場合、社会教育につながる活動をし、貢献してきた団体であるはずなのに負担が、2倍以上に激増します。なぜ、こういう点を検討しないのですか？資料にある比較は、一件安くなるように見えます。知らない人は、これで良いとみえるかもしれませんが、現実的ではありません。

市民ギャラリー展示室 134㎡ 3日間 28,260円

14,130円(社会教育団体は50%減免の為)

文化会館展示室 AB 130㎡ 3日間 24,630円と、付帯設備 ライト30、椅子10、机5の場合、1日約2,500円×3日間=7,500円で32,130円

展示室の存続、または激変緩和のための減免をしてください。

他の会議室も、減免についてふれられていないので同じくらいの料金とのことですが、減免で利用できた団体は、倍増になります。

・コロナ禍によって、活動できない時期が続き、文化会館の減免もなくなり大変な時に、これ以上の負担を急いで作ることに反対します。

(市の考え方)

市民ギャラリーにおいて、50%減額の対象となられていた社会教育関係団体が市民文化会館の展示室を使用した場合に、減額対象とならないことは認識しております。

公の施設の使用料については、平成29年2月に「時代に即した行政経営の基本方針2017(C3成長加速化方針)」及び「使用料等の減額免除の見直しについて」を策定し、受益者負担の原則に立ち返り、施設を利用する方と利用しない方の負担の公平性を担保する観点から公の施設に統一的な減額免除基準を設け、減額免除の見直しを行う旨を掲げています。

社会教育関係団体は、市民文化会館展示室においても以前は減額対象となっておりましたが、上記の市の方針に基づき令和4年度使用分から段階的に見直しを行う中で、対象外となりました。なお、令和5年度使用分をもって市民文化会館のその他貸室においても減額制度を終了する方針となっております。

(意見17)

廃止反対です。

市民ギャラリー施設の運営を自主管理制度(外部民間業者)に委託したらどうですか。

(市の考え方)

本市では、今後一斉に更新時期を迎え、多額の財政負担が見込まれる公共施設等について、後年度の世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な行政運営の実現による安全・安心な市民サービスを提供していくために、様々な取組を行っていくことが急務となっています。このため、令和4年3月に策定した「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）」に基づき、全ての公共施設等及び市有財産を対象に公共施設の統合・複合化・廃止・利活用の検討を行っております。

市民ギャラリーの運営コストですが、令和4年度を例にしますと、使用料収入「約240万円」、運営に伴う支出「約1,060万円」となり、支出が大きく上回っている状況です。

指定管理者制度導入など民間に運営を委託した場合でも、委託料が発生しますので、運営に伴う支出が恒常的に発生するようになります。

本市の上記のような状況の中、市民ギャラリーは、近隣に類似機能を有する施設が存在し廃止後の影響が比較的少ないこと、利用率が減少傾向であること等から、廃止・利活用を進めるものです。

また、今回の廃止・利活用は、コスト削減だけではなく、同目的を掲げる市民文化会館等に機能を集約することで、文化生涯活動の活発化等の効果が見込めると考えております。

(意見18)

市民ギャラリーは、市内のどこからでも行きやすく、駅からバリアフリーで利用できる大切な施設です。存続を希望します。高齢者もお子さんと一緒でも利用しやすい。この条件に代替の施設はありません。

(意見19)

代替室のご提案がありますが、美術館・青少年施設は、駅から遠く、高砂コミセンは絵の活動には不十分な設備です。市民ギャラリーのような設備が整って初めて代替室と云えるのではないのでしょうか。

代替室を受入れる場合、利用者の為にマイクロバスを巡回させていただくことは出来ないのでしょうか。

(意見20)

市民ギャラリー廃止は取りやめて欲しい。

絵画に関していえば、スペース、画材の保管、予約可能期間、水道整備、照明、交通の便利さなど、この条件を凌駕した代替施設は近隣にはない。今回の方針は、行政は文化を全く理解していないと言わざるを得ない。文化は欧州では、「心の栄養」と言われ、手厚く保護されている。茅ヶ崎は近隣でも文化度の高い自治体である。市は、なぜ、市民が生涯学習の場として利用している空間を取り上げるのか理解できません。市民の財産を民間に渡すことも理解できません。財政難というが、廃止による収益の提示もない。現在の条件と同様の施設を提供できないのであれば、今回の廃止は撤回すべきである。

(意見 2 1)

市民ギャラリー廃止の理由 イ に「近隣に類似機能を有する施設があること」を記していますが、収容人数や施設でそれを満たす所は無い。創作室については、代替場所が無い。

(意見 2 2)

見直し検討案の中で、会議室の代替施設は他にありそうですが、とりわけ5階の創作室は、代替えとして計画しているほかの施設の広さ、アクセスの面で問題があります。例えば、(利用者は、創作のための色々な用具を持参しており)美術館へのアプローチの点、青少年会館への国道1号線からの道幅の狭さです。

(意見 2 3)

市側は「近隣にも類似機能を有する施設等が存在する」といっています。民間の施設を紹介していますね、そういう事ではないですよ。市民の為の行政です。考えてほしい。市民ギャラリーを廃止して、市民文化会館に利用者が集まることで文化活動の活発化が期待される。と市側のコメントです。これだと益々予約が取りづらくなるのですかね(予約集中)。予約するにも、現状では時期が重なると予約ができない。そうすると利用率は下がらないのですかね。このようなことも予約率に反映されるのではないのですか。もっと要因分析をお願いします。因みに文化会館 5 室(14~82人)、市役所コミュニティーホール3室(8~36人)、男女共同参画推進センター4室(15~100人)、図書館(社会教育関係団体のみ利用可)⇒利用できないこれでは予約が取りづらいこと理解できると思います。

職員の皆様、もっと市民に寄り添った仕事をお願いします。削減するのはこのようなことではなく、余計な、及びいらない、多くの市民が望んでいない建物を建設する事ではないはずです。絶対やめてください、ハードではなくソフトです。市側のやり方、間違っています。

(意見 2 4)

近隣にも類似機能を有する施設が存在することや・・・ 会議室や創作室は類似機能を有する施設はあるかもしれないが、展示室はない。市民文化会館展示室はホールであり、ギャラリーではない。展示をしても隣でセミナーや展示即売会をされては困る。予約方法もギャラリー用ではなく、多目的ホール用で使いにくい。

市美術館の展示室2、展示室3は、市美術館の企画優先で市民が利用できる日はほとんどない。(特に展示室2)

5 ページ 3 市民ギャラリーの廃止

(1) 廃止の理由

ア 展示室の利用率は低い。低いと思うならば平塚市美術館市民ギャラリーのように空いている日を公開(平塚市はチラシを作っている)し、再募集すべきである。茅ヶ崎市はもっと努力をしてほしい。

イ 展示室は近隣に類似施設はない。会議室の代替施設はあるが、創作室の代替施設は遠すぎる。駅の近くの会議室を創作室として使えるように改修すべきである。

ウ 駐車場及びエントランスロビー側のガラス貼りについては評価する。

1000 人を超えるイベントホールの客層と絵画等の展示室に来る客層は全く違う。市民同士の交流の場がセミナー・展示即売会（声が聞こえる等）と隣り合わせでは集約効果ではなく、逆効果である。文化を理解していない方の一方的な言い分である。

#### （意見 25）

公的な役割の減縮についてどこの文章にも枕詞のように、「少子高齢化」を理由としていますが、市民ギャラリーに関していえば、成人期の生涯学習に利用されている施設であることから、むしろ高齢者人口の増加に視点を向けて、健康寿命を大事にする方向での活用に力を入れる必要がある。

茅ヶ崎市は、コロナ禍でも人口は社会増の傾向にある。利用率の低下はコロナ禍で、一般的な傾向とみると今後の利用率の推測の参考にはならない。

市民ギャラリーの展示室は、駅からのアクセス、利便性から小さいサークル等の利用には好評である。私たちの経験から、日頃美術鑑賞になじみがなくても、駅近くに出かけて看板を見て立ち寄る鑑賞者も多く、市民の文化向上に役立っている。

また、廃止となったら市民活動の場として創作活動ができるところが限定される。

市民ギャラリーの創作室は中央公民館的な要素があって、創作室は市内で他で代替できる場所はない。制作室は他市にも例が少ない、貴重な財産です。

代替施設の確保はできません。

美術館の製作室、海テラスの製作室、青少年会館の工作室なども静物や人物モデルを囲んでやる活動の広さを確保できない。廃止は市民の創作活動を阻害するものです。

公的な施設が一か所に集中すると、やむなくほかの用途に使用されたとき活動が停止されてしまう。

昨年文化会館が予防接種に利用された期間、展示室の使用が制限された。

市民ギャラリーの展示室の利用は年間計画で考える際、文化会館と比べ判断する期間が短く、計画の都合を調整しにくい。作品展示などの利用は申し込みに期間（年単位）が長くなれば利用が広がると思われる。

駅近くの会議室は、市内のどこからの参加者にも交通機関の利便性から有用である。

公共施設は災害時など、3. 11の経験でも証明されているように交通機関のストップで足止めされて帰宅困難な人たちの一時避難に有効であった。

#### （市の考え）

前述のとおり、本パブリックコメント実施後、オープンハウス等によるご意見募集や利用者説明会を実施してまいりました。本パブリックコメントに寄せられたご意見、また、その後に実施いたしましたオープンハウスや利用者説明会等でいただきましたご意見を考慮し、次のとおり進めてまいります。

市民ギャラリーと全く同じ立地・機能とまではいきませんが、駅に近い市民ギャラリーから半径 600m 圏内の展示機能やアトリエ機能等、類似の機能を有する施設があることから、ご利用される方が活動に合う施設を御選択いただけるよう、市民ギャラリーの近隣施設を中心として、類似機能を有する施設の詳細情報について市ホームページに掲載してお

り、今後も引き続き周知を行ってまいります。

また、市民ギャラリー備品について、引き続き御使用いただけるよう他の近隣施設への転用を検討いたします。なお、市民文化会館は毎月1日1年後の予約の抽選会があり、抽選会に参加される利用者は少ない傾向です。その他近隣施設についても、一部利用希望の多い月や曜日などの偏りはございますが、利用可能な枠もありますのでぜひ御利用いただければと考えています。

創作室については、今までに行ってきた利用者との意見交換会等においていただきました、希少性に関する意見等のご指摘を踏まえ、当初から紹介していた施設に加え、市民文化会館会議室に創作機能を付加する改修案を検討してまいります。

また、改修案の検討にあたっては創作室の利用者等に意見を伺いながら進めてまいります。

3階会議室及び4階展示室は類似機能を有する施設が近隣にあることから、令和6年12月末で廃止とし、5階創作室については引き続き利用者との意見交換等を行いながら、廃止時期を未定として当面の間運営し、段階的に対応することといたします。

#### (意見26)

P6 今後作成する施設一覧表に記載する予定ですが、いつまでに作成するのか明記願います。

P6 高砂コミセンが記載されていますが、同様に駅から程近い茅ヶ崎コミセンも記載検討願います。

#### (市の考え)

ご指摘を踏まえ、「類似機能を有する施設一覧」の【会議室】に茅ヶ崎地区コミュニティセンターを追記します。

#### (意見27)

市民ギャラリーに替わるものとして小スペースでも展示が出来るようにしてほしい。

◎駅近を最優先にし、小作品を展示できるように有料でも可です。

◎店と共同出来るよう展覧会と一緒に考えてもらいたい。

◎会議室として使用できることのスペース

◎市民が集える場所

◎市民ギャラリー的なものを切に願います。

皆の意見書を何らかの形で編集して報告してください。是非とも意見を取り入れて考えてください。

追伸

市民ギャラリーに替わるものとして市が考えて交渉してください。図書館又は近隣の商業施設（ヨーカ堂又はジャスコや藤沢の市民ギャラリーは小田急の6階が使われています）その他ギャラリーを作ってください

(意見28)

今までの市民ギャラリーほどの大きなスペースでなくてよいので、市民のための展示会場がほしい。

- ・運営は民間委託でもよい。
- ・広場的なスペースで展示だけではなく、マーケット会場の様な感じて市民が集えるスペースを残してほしい。
- ・藤沢の小田急デパート内現在市民ギャラリーの様に、便利なスペース

茅ヶ崎では、イトーヨーカドー（駅に近い場所）内にスペース（展示会場、マーケットスペース）を作って欲しい。

- ・この意見書を有効的に利用してほしい。

既にある方針を実現するための道具、つまり意見書を集めたという事実をつくる為のものにしないでください。

(意見29)

駅に近い状態の良い場所なので、展示スペースが残せるような（有料可）場を作ってほしい。

- ・店と共存できるような展示スペースがあると嬉しいです。
- ・茅ヶ崎の文化が駅近で見られるようになれば、子供たちの教育に役立つのではないかと思う。子供を育てなければ、未来は無いと思います。
- ・駅近のヨーカ堂の5階の空きスペースを市で借り上げることは不可能ですか？集客もできるし、協力して頂けるのではないか？

(意見30)

是非作品展示会場を駅近に欲しい。子供から年輩者までが発表出来る所が茅ヶ崎には無い（無くなる）

どうか以前のようにギャラリーをお願いします。

決定する前にもっと利用者の意見を取り入れて欲しかったです。

バリアフリーの世の中、駅から車椅子で入れるところは今までのギャラリーしか無かったから、再現して欲しいです。それが出来ないのであれば、他に駅に近いところで替えられるスペースを捜して提示してください。ヨーカ堂5階の空きスペースなど  
・・・。

(意見31)

私は市民ギャラリー（展示室）、市民文化会館（改修前の展示室）、市美術館（展示室2）でそれぞれグループ展を主宰したことがあります。

その経験でいえば、茅ヶ崎市には、市民ギャラリー（展示室）を代替する施設はありません。茅ヶ崎市民にとって市民ギャラリー（展示室）は必要です。

会議室・創作室の統廃合は認めますが、市民ギャラリー（展示室）は、「ネスパ茅ヶ崎ビル」の最上階を改修し、移転させて続行することを提案します。

### (市の考え)

本市では、今後一斉に更新時期を迎え、多額の財政負担が見込まれる公共施設等について、後年度の世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な行政運営の実現による安全・安心な市民サービスを提供していくために、様々な取組を行っていくことが急務となっています。このため、令和4年3月に策定した「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）」に基づき、全ての公共施設等及び市有財産を対象に公共施設の統合・複合化・廃止・利活用の検討を行っております。

上記のような状況の中、市民ギャラリーは、近隣に類似機能を有する施設が存在し廃止後の影響が比較的少ないこと、利用率が減少傾向であること等から、廃止・利活用を進めるものです。

民間施設を活用しギャラリーを運営することは、市の方針として公共施設等の廃止・利活用等を進める中、新たに運営コストを恒常的に発生させるものとなります。

また、市民ギャラリーの展示室は、平成30年10月に市民文化会館展示室がリニューアルオープンした翌年の令和元年度は前年度19%の減少が見られます。一方で市民文化会館展示室の利用率は、63.6%にとどまっており、利用者の分散が起きていると考えております。

市としては、市民文化会館にギャラリー機能を集約し、分散を解消することで、さまざまな効果を考えており、その効果による文化生涯活動の活発化等の効果が見込めると考えております。

以上の理由により、新たに民間施設を活用し、ギャラリーを運営することは考えておりません。

なお、ネスパビル最上階（6階）は、民間施設となります。

### (意見32)

七宝教室（生涯学習）で、使わせていただいております。駅近で、設備も整っており、楽しく勉強しておりました。残念です。七宝教室に必要な設備を備えた施設を、茅ヶ崎市内に見つけるのは、大変難しいです。ワンフロアだけでも、教室用に出来ないのでしょうか？文化活動を、営利のために切り捨てない事を、心より切望いたします。

### (意見33)

市民ギャラリー創作室Bにある茅ヶ崎市所有の電気炉を他の施設に移設し、七宝制作活動が継続できるようにしていただきたい。

茅ヶ崎市での七宝制作活動は、2012年、茅ヶ崎市のまなびの市民講師であり、（公益社団法人）日本七宝作家協会の行使認定の資格を有する早野総和理事（当時は監事）が行った茅ヶ崎市の自主企画講座からスタートした。その後、自主企画講座受講者たちから、毎月継続して七宝の制作を続けたいとの要望があり、サークル「釉遊会」を発足させ、市民ギャラリー創作室Bに設置されている電気炉を使用して活動を続け、以後毎年上野の東京美術館で開催される日本七宝作家協会展に出展を続けている。

七宝芸術は、日本の伝統的な芸術文化であり、サークルの皆さんが、興味と喜びをもって活動を続けているさまは、まさに生涯学習にふさわしい活動と考えている。

また、日本七宝作家協会の活動の目的に示されるように、伝統芸術七宝に対する一般の理解を広げるための活動としてもサークル活動は重要な意味をもっていることから、日本七宝作家協会からの期待も大きい。

2018年には、当時超絶技巧として現代の七宝芸術での中心人物としてテレビなどでも話題になっていた、日本七宝作家協会副会長の春田幸彦先生（当時文化学園大学准教授、現在は教授）の公園が、茅ヶ崎市立図書館で行われ、サークル会員だけではなく、広く一般市民の参加を得て、人々の関心を引いた。このような状況を踏まえても、ぜひとも茅ヶ崎市での七宝制作活動が継続して行われるよう、ご配慮をお願いしたい。

活動継続のための要件

(1) 電気炉の移設

現在活動は、市民ギャラリー創作室Bにある、市の所有する電気炉2基を使って活動している。電気炉は七宝制作のために必須で、この電気炉の移設先を探して欲しい。

(2) 水道施設を備えた流し台

(3) 七宝釉薬の調整、施釉、焼成などに使用する器具、用具の保管場所の確保

上記のうち、(1) (2)は必須であるが、(3)については、必要最小限のものに限定することによって、現状よりも備品数を削減できるかどうか検討したい。

(市の考え)

市民ギャラリーの備品である七宝焼き電気炉について、立地が比較的近い類似機能を有する施設である美術館への転用等を検討してまいります。

(意見34)

現在の市民ギャラリーは長年、生涯学習として特に高齢者の創作活動で絵を描くことを生きがいに利用していますが、現状からするととても利用しやすい場所、環境にあります。起案についての代替え案ですが、利用している5階創作室だけは2案とも私どもにとって利用、活動しがたいものです。人数、イーゼル、机、椅子、収納部屋、備品棚、照明、広さ、画材の洗い場、駅から近い・・・これだけの対応、いい設備環境だから続けていけるのです。

今回の行財運営としての市民ギャラリー廃止案は、単なる無作為に抽出した市民へのアンケートの結果や近年の利用実績をもとに廃止を検討されていますが、利用している者として利用者不在の思いやりの無さを感じざるを得ません。無作為に抽出した市民へのアンケートの結果や近年の利用実績をもとに廃止を検討されていますが、利用している者として利用者不在の思いやりの無さを感じざるを得ません。無作為に抽出した方々について創作活動をやっておられるかを問えば少ないのは当然でしょう、アンケートの結果や利用率が少ないから・・・と、市民ギャラリーを廃止する、これでは余りに拙速過ぎで廃止ありきに思えます・・・むしろ、本件は内容からして利用している団体やサークル、関係する方々の意見を中心に聞いて欲しいものです。

私ども生きがいとしての創作活動、要となる場所が市民ギャラリーです。現在の茅ヶ崎市の創作文化の継続発展をしていくためには、現在の市民ギャラリーは欠かせないものです。

学習塾、クリニックなどの案を聞きますと、これが市民のための政治、行政ですか？

・・・と考えてしまいます。むしろ、いろいろな状況のなかにあっても未来を見据え、生涯学習の大事さを認識し、継続していけるように配慮する市政こそ本来の姿ではと考えてしまいます。短絡的にこのような状態になることは、とても納得できず市民として反対です。

利用者目線で市民のための行政を・・・本件については、とても辛い、悲しい案件です。廃止案については利用者の意見を聞きおき、廃止案の撤回を求めます。

#### (意見35)

「市民アンケート調査結果」において、理解できない設問があります。設問「市民ギャラリーの貸主を利用したことがあるか」との問いに、利用したことがある。7%、利用したことがない。93%との結果がコメントされていた。

この設問は意味がありますか。予約する人の割合ではないでしょうか。団体から予約する人は一人いけばOKですよね。この割合は見た人は会議室の借りている人は少ないと思います。利用者は少ないので廃止にしても問題ないよね。という結論ですよ。

「廃止して利活用してほしい」81%、利用者意見募集結果では「市民ギャラリー存続希望」70%です。なのでアンケートの設問が間違っている、誘導アンケートは廃止です。職員のレベル、或いは市長の方針があり、やむを得ないのですかね。いずれにしても、市側はもっと市民に寄り添った行政を行ってください。

#### (意見36)

市民ギャラリーの廃止に反対です。

市民ギャラリーは、利用した人でなければ、その価値はわからないと思います。

市の調査でも、存続に関する意見を表明した人のうち7割が存続を希望するとなっているわけですから、その意見は最大限尊重されるべきだと思います。

それに対して、市民ギャラリーを使用したことのない人を多く含む無作為抽出の市民アンケートの結果を対置して結論を導こうとするには、行政の市政として誠実さを欠くと思います。市民ギャラリーの廃止、その方針の撤回を求めます。

#### (意見37)

持続可能な行政運営を行う諸行政を実施することは必要と思います。その判断をするためにも。全市民のアンケート調査等を実施し、また、また懇談会や意見交換会や説明会を実施後、当事業をすすめる必要があると思います。実施したアンケート回答率13.1% ずいぶん低いです。意味少ない。

#### (意見38)

(5)の市民アンケート調査結果について(令和4年2月)利用したことがない人が93%いた中の81%が廃止しても良いとした内容は調査自体がおかしい。利用したことがない・・・ということは、どんな場所か知らない訳だから、本来は答えられない内容なはずである。

(意見39)

10～11 ページ

(5) 市民アンケート調査結果

市民ギャラリーの貸室でアンケートをとっているが、展示室、創作室、会議室別でアンケートをとるべきであり、市民全体では意味がない。それより施設別の利用経験者を対象とすべきであった。円グラフ、棒グラフなどを提示し、廃止を前提とした資料である。

(6) 利用者意見募集結果

このアンケートも展示室、創作室、会議室別にアンケートを行うべきであって、もっと多項目に行く必要があった。(5)では円グラフ、棒グラフで提示し、(6)ではなぜ行わなかったのか。存続希望が視覚的に見えてこない。廃止を前提とした悪意に満ちた資料ある。

(意見40)

ギャラリー等の利用状況についてアンケートを取ったようですが、回答者は当然非利用者が多くなり、深く考えない回答が多くなると考えられます。

従って、一般論的にやるのは平等を装っているずるいやり方であり、適切とは言い難いと考えます。

(市の考え)

市民アンケートは、回答率は13.1%に留まりましたが、無作為抽出で市民に発送したことにより、幅広い年代、職業等からの回答を集めており、利用者から利用したことがない方も含め、幅広い意見を伺うことができたと考えております。

加えて、利用者の方に意見を募集することで、利用者ならではの施設の使い勝手等、詳細な部分に関する貴重な意見を伺うことができたと考えております。

※ 市ホームページ「市民ギャラリーを廃止し利活用することについてのアンケート調査結果([https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka\\_shogai/gallery/1047338.html](https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka_shogai/gallery/1047338.html))」に結果を掲載しております。

(意見41)

市民ギャラリー会議室の件です。アンケート調査を市側から発表しています。平成30年度から利用率が減少傾向になっている。この原因として、2つの要因があると思います。

①はコロナ禍が平成30年度から始まり、利用率減少は、当然ではないでしょうか。

②すべてそうなのですが、予約が取りづらいことが一因にあるのではないのでしょうか。予約をするときにはネット環境、参加人数、利用可能な曜日等を考慮すると、どうしても予約が集中してしまう。そうすると予約回数が減少してしまう。要するに会議室を借りる団体の需要はたくさんある。でも、供給側がそれにマッチした、入れ物を適度に供給していないのが大きな原因ではないのでしょうか。会議室を用意したから使ってくださいとはいけない。もっと市民レベルにあった供給はしてほしい。この

やり方では納得しません。

(意見42)

素案のデータ(利用減)は、コロナ禍で3年余り、感染予防にて利用を控えているのが事実。2～3年後に平常に戻った状態でのデータで再検討ください。

(意見43)

「平成30年から利用率が減少傾向となっており」というのは、コロナ禍の下では廃止の理由にしてはいけない。

(意見44)

1 ページ 1 背景及び目的 18 行目から

市民ギャラリーについては、5割程度の利用者で推移していましたが・・・展示室、創作室、会議室を全部合わせて5割とっているが、3室別々に利用率を提示すべきである。廃止を前提とした資料である。

(意見45)

市民ギャラリー(会議室、創作室含む)廃止に反対します。

ギャラリー、創作室、会議室等の廃止の理由として利用者数の減少をあげていますが、そもそも利用者数の減少は新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。最初に何か月か閉鎖されたのが始まりで、感染症の終息が見えない中では利用者数が少ないのは当たり前のことと考えます。

感染症が発生する前は、ギャラリー(会議室、創作室も)を確保するのが大変なくらい、くじ引きへの参加者が多く、希望の月・日にとれないことは何回もありました。従って、感染症が終息すれば依然と同様、利用者数も前に戻ることが当然予想されます。コロナを無視した、利用者減を理由にするのはアンフェアと考えます。

(市の考え)

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月～6月はほとんどの期間において休館することとなり、その後も緊急事態宣言等により、開館時間を短縮するなど、コロナ禍における利用率減少は認識しております。

しかしながら、市民ギャラリーの利用率は、新型コロナウイルスの影響を受ける前の平成29年度から平成30年度において、すでに各貸室において減少が見られており、コロナ以前の利用率を考慮しております。

また、市民ギャラリーの展示室は、平成30年10月に市民文化会館展示室がリニューアルオープンした翌年の令和元年度は前年度19%の減少が見られます。一方で市民文化会館展示室の利用率は、63.6%にとどまっており、利用者の分散が起きていると考えております。

(意見46)

『茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）関係者のみなさま』

独立し都心の企業で働く息子や彼の友人達が、茅ヶ崎市から本籍を移さないのは、便利で人の繋がりを大切にし、文化的な活動ができる茅ヶ崎にいつか戻りたいからだと言います。

都心で働く多忙な母親が茅ヶ崎市の生涯学習で始めた、月1回の七宝焼きを続け芸術的なセンスを磨き、齢を重ねてからも茅ヶ崎は有意義に生きる魅力がある街のようだからと息子達は言っていました。

若い世代は親世代の生き方をよく見えています。変化の多い社会では生き抜くためのコストが必要です。私たちは人間です。いつの時代もコミュニケーションは大切で、いざというときに助け合えるのは人です。人が触れ合い働くだけでなく、生きることを楽しむ場があるから、困難な課題に立ち向かい生きる意欲をキープできています。

講師・設備・アクセス 全てを合わせて人は集まり、交流が保たれます。

代わりの場はあるかもしれませんが、条件が変わることで通えなくなり、設備が整わない事で安全安心に制作ができず、クリエイティブ思考をそこないます。

今と同じ条件の文化活動の場が使えなくなることは培ってきた人の和も、生きる楽しみも失います。

関わらない人からみれば大きな問題に感じないかもしれませんが、朝早くから夜遅くまで働いて、寝に帰る茅ヶ崎での楽しみが無くなることは、茅ヶ崎に住む意味もなくなると考えています。

市民の楽しみや利便性を、コスト削減を理由に利用者に相談なく奪う市政で、将来安心して有意義な人生を過ごせるのか？と、疑問が湧いてきました。

毎日一生懸命働き月1回の楽しみを市民から奪うことを、それでも実行されますか？

人生100年時代の今、日本の美術工芸の伝達を一生懸命されている先輩方の活動の場を減らすことは、コスト削減を理由に優先的に行う必要があることでしょうか？生き甲斐は人により違います。でも「ここでしかできない」「ここで人の繋がりを大切にしている」人もいます。

息子は今回の市の政策で本籍を茅ヶ崎に残すか否かの決断をすると話しています。茅ヶ崎は人の縁や繋がりを重視する街、そして文化芸術を育み平和を大切にする街だと信じています。

市民活動の場（ネスパ茅ヶ崎ビル）の現状維持を心からお願いいたします。

(意見47)

きっかけは市報でした。「七宝焼体験教室」

応募して初めて作ったのは、透胎七宝のペンダントヘッド。ご指導下さった先生が、定期的な教室を主催されていると伺い、希望者の列に並びました。明治時代に日本で作られた超絶技巧の七宝焼が大好きでしたが自分が作れるとは思いませんでした。先生に教えていただき、初心者でもいろいろ体験し、望外な事に「日本七宝作家協会展」にも出品出来ました。これも七宝焼の窯を備えた場所があつての事です。この場が失われたら…言葉ありません。今一緒に作品を作っている仲間は市外から来ている方

も多いです。七宝焼をどうか続けさせて下さい。よろしくお願いいたします。

(意見48)

七宝サークルの活動で市民ギャラリーを利用させて頂いてます。

この活動で七宝焼の素晴らしさや奥深さを知り、まだまだたくさん学びたいと思っています。

しかし、市民ギャラリーが来年9月に閉鎖になることが決定しているそうですね。もし代替り場所が見つからない、駅前ではなくなるとなると、サークル活動が続けるのが難しくなる仲間もいらっしゃいます。少しずつ揃えた道具や材料も無駄になってしまいます。

是非今の場所で続けられるようにして頂きたいです。よろしいお願いいたします！

(意見49)

市長、市議会の先生方、市民ギャラリー廃止について、一市民として又ギャラリーを30年以上利用している者として、85歳になった今も毎回楽しみにしています。足、腰が痛いながら、バス駅前のギャラリーで若い方と一緒に絵を描いていることが幸せです。この幸せを奪わないでください。他の場所にうつれとの事、うつる場所は探してもありません。ギャラリーをとり上げないで下さい。

私事ですが、一日中どこにも行かず、ボーとして、家に居ろと云うのですか。90を過ぎた人も居ます。皆年をとってものがんばろう！と絵を書いています。我が楽しみ、これっきりでいいですか。市長さん、お金が大事ですか。市民の心の豊かさ、楽しみが大事ですか。もう一度、考え直してください。

(意見50)

長い間「市民ギャラリー」を利用させていただき誠に有難う御座いました。この度使用出来ないとのこと、非常に困っております。このような施設のお陰で、私達高齢者は元気に学び明日への活力となっております。

どうぞ中止をお考え下さいますよう、心より強くお願い致します。茅ヶ崎の文化を守っていただきたいです。学びの場は生きる力です。

(意見51)

人物画を描く会に入れていただいてから、20年ほどになります。決められた時間内に描く緊張した時、絵を描くおなじ趣味を持つ方とお友達になりました。この会がなくなりましたら、どんなに寂しいことになるでしょう。どうか、こういう場所をなくさないで下さい。

(意見52)

ウの市民文化活動の活発化がきたいできるどころか、文化活動の衰退を招くことになる。

(意見53)

会議室、創作室については主なその利用者が比較的高齢者に偏っているのは、若い人はその多くが東京、横浜をはじめ他市の企業へ勤務しているのに対し、ほとんどを市内で過ごしている高齢者が主に利用するのは当然な成り行きです。

そして、いま働いている人々もいずれはリタイアして自分の趣味等に時間を使うことが当然考えられますが、その時に便利な場所にある会議室等を利用したくても廃止されてしまったら、困ってしまうと考えられます。

(意見54)

最近の茅ヶ崎市のやり方を見ていると、長期的な視野に立って市民生活をどのように導いて行くかよくわかりません。

生涯学習とかありますが、そのような考え方があるとは思えません。市民一人一人の側に立った、尊敬される市政運営を期待します。

(意見55)

市民の多くが後期高齢者に突入したときに、これに合わせるように、なぜ生涯学習支援施設を縮小しなければならないのか。削除すべきところは、他の多々あるはずで

(市の考え)

市民のみなさまが文化生涯学習活動を継続できるよう、類似機能を有する施設への案内や、市民ギャラリー廃止後の物品等の転用等を検討しております。

また、同目的を掲げる市民文化会館等に機能を集約することで、文化生涯活動の活発化等の効果が見込めると考えております。

(意見56)

年齢も高いので茅ヶ崎駅の近くに会場があるのは大変便利でありがたく、頭の体操をする事に励みがありました。確かに他の場所もありますが、利便性が良いのでなくさないで下さい。

(意見57)

いつも利用させて頂いております。駅近で高齢でも使いやすく、このような場所が他にありませんので、ぜひとも継続をお願いします。

(意見58)

ソロプチミストの各月の例会場として、利用させて頂き、大変助かっております。来年9月より会場をつかえなくなるかもと伺い、新しい例会場を探すことに大変困っておる次第です。駅近で大変利便性の良い会議室で是非、継続して使わせて頂けよう、切にお願い申し上げます。

(意見59)

◎現在の市民ギャラリーは、充実した機能、スペース、アクセスの良さ等において、他の選択と比べ、圧倒的な価値がある。

◎4階の展示会場及び5階の創作室の利用者の多くは、ここ数年のコロナ禍では、色々な面で我慢を強いられ、体力・気力が著しく影響を受けたのではでしょうか。

このタイミングで、今回の方針を実行されようとしていることは理解できません。

(意見60)

私はネスパ茅ヶ崎ビル3F会議室[A・B]を利用しています。月/1回(火)午前ネスパ茅ヶ崎ビル利用のメリットは、駅直結で利便性があり、高齢者、障害者、市外の方が利用しやすい事です。市財政のご苦労もある事でしょうが、市民(高齢者、障害者)の楽しみも考慮して、文化生涯学習が続けられるにふさわしい場所として、ネスパ茅ヶ崎ビルの一部(ワンフロア)を残すことも考えていただきたいと思います。

(意見61)

集約の効果は集中化させることにより、分散化させることが大切である。駅周辺は廃止できない。一番便利だからである。

(意見62)

ほとんどの市民はいまの住まいの住所の範囲で歳をとっていくと考えるのが普通です。人は高齢になるに従い足腰が弱くなり、公共交通機関に頼らざるをえなくなりますが、バス停とかから遠くにあるような会議室等では利用困難になり、それでは高齢者はだまって家に引っ込んでろということになりかねません。又、会員には現役の人もおり、土日に来会を開催する必要がありますが、場所的に今のように便利なところはあります。

お客様にとっても、ギャラリーの所在場所としての利便性は優れています。駐車場がないため搬入・搬出は重い作品を手にもって行く必要がありますが、買い物等のついでに気軽に寄っていただけることを考えると、その労力に十分に見合うものと考えます。

(意見63)

会員の半分が80才以上のため、足の具合が良くない人もいます。駅からすぐの市民ギャラリーは、大変便利で助かっています。

また、予約方法や納金などとても良いです。場所により方法が異なるので、統一があれば尚良いです。

(市の考え)

茅ヶ崎駅直結という利便性の良さは認識しています。

そのため、市民ギャラリー半径600m圏内の公共施設を類似機能を有する施設として案内しております。そのうち市民文化会館は、駅から徒歩7分程度、駐車場があり、施設前に神奈中バス停「市民文化会館前」があり、アクセスが良い施設となります。

(意見64)

「長寿命化の推進」を安全安心な市民サービスを目標の初めにかかげられていることが、市民ギャラリーが廃止されることとは、結びつかない。

(市の考え)

「長寿命化の推進」は、令和4年3月に策定した「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画(改訂版)」の公共施設マネジメントを推進するための基本方針の一部です。

本市では、当該基本方針全体の見直し視点に基づき、全ての公共施設等及び市有財産を対象に公共施設の統合・複合化・廃止・利活用の検討を行っております。

その取り組みの中で今回、ネスパ茅ヶ崎ビル(3階～5階)及び萩園市民窓口センターほか複合施設について市民サービスの見直しを行い、利活用について検討することとなりました。

検討にあたっては、前述のとおり、本パブリックコメント実施後、オープンハウス等によるご意見募集や利用者説明会を実施してまいりました。本パブリックコメントに寄せられたご意見、また、その後に実施いたしましたオープンハウスや利用者説明会等でいただきましたご意見を考慮し、方針を決定いたしました。

今後も様々な公共施設等に関する見直しの取り組みについて、「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画(改訂版)」に基づき、検討を引き続き行ってまいります。検討を行うにあたっては、様々な手法を活用しながら市民ニーズを把握した上で実施してまいります。

■市民窓口センターの廃止に関する意見(16件)

(意見65)

今回の廃止等の件です。各窓口センターの廃止は賛成です。各センターの収支バランス表を拝見するとセンター経費のほとんどが人件費になっています。その費用をカバーするために補助金を投入している。窓口業務の費用対効果は最低です。税金投入する目的があるのか疑問です。廃止はすべきです。

(意見66)

市民窓口センター廃止について、全体としては良く纏められており、一市民としては納得のいく内容になっていると思います。是非、実現出来る様に推進をお願いします。

(市の考え)

平成23年2月策定の「窓口サービス提供のあり方」において、出張所の整備及び市民窓口センターの統廃合を進める方針となっており、出張所の整備が完了したため、現存する2箇所の市民窓口センターを廃止するものです。

(意見67)

マイナンバーカードが普及してきたので、住民票等の発行業務を行う部署が廃止されるとあります。ですが、駅前窓口は夜間だけでもいいので残して欲しい。

文書取得の他に各部署へ用事がある人は日中に来庁しますが、文書だけ欲しい人は会社帰りの平日夜間に立ち寄りたと思っています。

(意見68)

市民窓口センターの廃止に反対です。

市民窓口センターは、利用者が減っているとしていますが、茅ヶ崎駅前と萩園をあわせて3万件ちかい証明書等の発行が1年間に行われています。開館時間が限られていたりとか、対象として想定される利用者の数とかを考えれば、決して少ない発行数ではないと思います。市民は証明書をとるための時間や場所にさまざまなニーズがあるわけです。そこにきめこまかく対応しようとする努力を続けていただきたいと希望します。

(意見69)

市民窓口センターの役割とはなんですか。単に証明書等の発行や市税の収納だけですか。市政に関する刊行物や行政資料を備え、情報提供に努めることではないのですか。十分に活用できなかった市の怠慢を市民に押し付けないでください。

(意見70)

南口の人口の多さ、今も増え続けている中、駅前窓口がなくなるのは、「ありえない!!」と思う程驚きました。自転車、徒歩で駅まで出てくる大変な方々、さらに駅から北へ向かう事。バスであれば、駅から再び。タクシー代もバカになりません。高齢者、子育て世代にとっても辛い知らせです。廃止に大反対です。

(意見71)

コンビニでマイナンバーカードで印鑑証明書等の交付を受けることは可能ですが、高齢者が多く、また高齢化が進みカードになじまないため存続を希望します。コンビニ証明書が取得できると言っても、印鑑証明書と住民票のみです。萩園市民窓口センターでは現在7種類の証明書取得が可能であり、明らかに住民サービスの低下と言わざるをえません。

(意見72)

現在、萩園市民窓口センターでは、7種類(市HP確認)の証明書等が発行されているが、マイナンバーでのコンビニ交付サービスの対象は、現在、住民票と印鑑登録証明書の2種類だけである。戸籍謄(抄)本は、今後もコンビニ交付サービスの対象になっていない。(市民課確認)

マイナンバー取得者は現在、役46%、コンビニ交付サービスで利用できるのは、住民票と印鑑登録証明書だけである。そのため、萩園市民窓口センター利用者の半数以上は、恩恵を受けられない。(特に高齢者)近年、利用者は2.5%を維持し、多くは

ないが減少はしていない。コンビニ交付サービスがあるからという理由で、本当に萩園市民窓口センターを廃止してよいか疑問である。

#### (意見 7 3)

萩園市民窓口センターは年々証明書等発行件数が減少していますが、全体で見ても平成 29 年度と比較しても証明書等発行件数は減少しています。萩園市民窓口センターは平成 29 年度と比較しても全体に占める割合は 0.1%減であり、まだまだ存続を必要としている住民は多いのではないかと思われる。

萩園地区は平塚市と接し、茅ヶ崎市中心地から離れており市民窓口センターが存続することを臨んでいる住民が多いことと思います。

これまでの市民窓口センター廃止は 3 か所ありますが、小和田市民窓口センターは辻堂駅前出張所が開設され、南湖市民窓口センターはハマミーナ出張所が開設され、香川窓口センターは香川駅前出張所が開設されていますが、萩園周辺地区の住民はハマミーナ出張所か香川駅前出張所に行くこととなります。

施設ごとの証明書発行件数ですが、その他除き年間 1 万件以下は、萩園市民窓口センターと小出支所のみですが、この 2 地区は、出来れば来てほしくない施設（火葬場、ゴミ焼却所）があり、住民感情として市としての配慮が欲しいと思います。と言うことで、今後の利活用となりませんが、萩園市民窓口センターの存続を切に希望します。

#### (意見 7 4)

萩園市民窓口センター利用者がハマミーナ出張所へ行くにはあまりにも遠すぎる。そのためアンケートなどを実施し、廃止になった場合、どのような方法で代替するのか実態を調査し、そこから決定することを提案する。とりあえず令和 5 年 9 月末日の廃止の凍結を要望する。それが無理ならば、半日又は隔日の窓口業務とし、萩園市民窓口センターの続行を考えてほしい。

13 ページ～ 4 市民窓口センターの廃止

#### (1) 廃止の理由

平成 23 年度・・・

1. 小和田市民窓口センター→辻堂駅前出張所
2. 香川市民窓口センター→香川駅前出張所
3. 南湖市民窓口センター→ハマミーナ出張所
4. 萩園市民窓口センター→ハマミーナ出張所

1～3については納得できるが、4のハマミーナ出張所ではあまりにも遠すぎて、統廃合とは言えない。利用者を見捨てた乱暴な決定である。

#### (市の考え)

市民窓口センターは、戸籍、住民票、印鑑登録、税等に関する証明書の交付と市税等の収納を行うため設置されています。元々市内に 5 箇所設置されていましたが、平成 23 年 2 月策定の「窓口サービス提供のあり方」において、出張所の整備及び市民窓口センターの統廃合を進める方針としており、出張所の整備が完了していることから、現存する 2 箇所を廃止するものです（3 箇所は既に廃止されています。）。

茅ヶ崎駅前市民窓口センターにつきましては、令和2年1月から、火曜日から木曜日までを休業とし、開業日時を段階的に縮小してきた経緯があります。

このような中、主なサービス対象である証明書等の発行については、近年の制度改正等により大きく状況が変化してきており、マイナンバー制度による情報連携の進展により、行政手続の際の住民票等の添付の必要性が減少してきていること、戸籍事務にマイナンバー制度が導入され、令和5年度中には多くの行政手続において戸籍謄抄本の添付が原則不要になること等により、証明書等の発行の必要性が減少していく見込みとなっています。

証明書等が必要な場合についても、マイナンバーカードを使用し、住民票の写し及び印鑑登録証明書を午前6時30分から午後11時までの間、コンビニエンスストア（セブンイレブン、ローソン及びファミリーマート）で取得できるほか、24時間利用可能な e-kanagawa 電子申請では、戸籍謄抄本や戸籍の附票、税証明などをスマートフォンなどからマイナンバーカードを読み込み、申請後に、郵送で取得することが可能となっております。

以上のことを勘案し、令和6年3月末をもって廃止することとします。

また、コンビニ交付サービスや e-kanagawa 電子申請サービスなどについては、市ホームページや Facebook、Twitter 等の SNS、ポスターの掲示、窓口において案内を配布するなどの周知を図っているほか、LINE や広報紙などでもさらなる周知を行ってまいります。

#### （意見75）

廃止すれば、国が進めるマイナンバーカード利用促進になるかとも言っていますが、不便さを増やすことによってその方向性に導こうとするのは、やはり行政としては不誠実であると思います。市民窓口センターの廃止、その方針の撤回を求めます。

#### （意見76）

マイナンバーカードの利用促進は、国の施策であり、カード取得は個人の判断であり、市の行政サービスの廃止とは、別問題であり、廃止の理由にはならない。

#### （意見77）

マイナンバー利用推進につながるものが想定される。P28 メリットとありますが、そうでしょうか。

1. 今マイナンバーについては強い不信、2. 分からない等々からまだ取得者 50%にも達していないにと聞きます。市民に国民に強制するのでしょうか。私は取得していますが…。そしてネットの故障からスマホも使えない時あり、高齢者は使いづらい。若者は TEL（公衆電話）を使えない…外国からの情報もれ、不正アクセスを心配している人もいる…諸々種々のことを考慮して進めてください。

#### （市の考え）

平成23年2月策定の「窓口サービス提供のあり方」において、出張所の整備及び市民窓口センターの統廃合を進める方針となっています。この方針に基づいて、出張所の整備を完了した上で市民窓口センターを廃止するものですが、それに加えて現在普及が

進んでおり、更なる普及が見込まれるマイナンバーカードの利用方法の一つとして想定されることもあわせて記載したものです。

なお、令和5年6月30日現在、茅ヶ崎市のマイナンバーカード申請率は87.8%、交付率は73.2%となっております。

(意見78)

P.13(エ) 概算経費の算出基準、方法を提示願います。

P.14の(エ)も同様に。

(市の考え)

概算経費の算出方法は、各市民窓口センターで要した経費(人件費、物件費等)を年間の証明発行件数で割ったものです。

(意見79)

平塚市、藤沢市、鎌倉市・・・多くの県下の市で茅ヶ崎以上の機能のある行政センターが多くあると思うのですが、他市はどうなっているのか。どう市は考えるか。教えて下さい。

(意見80)

駅等に窓口センターがあり、また近くに行政センター等があり、また近くに行政センター等がある市も多いと思いますが、他市はどうなってますか。そのことをどう考えますか。

(市の考え)

各市の行政サービス拠点の位置、数等については、各市それぞれの背景や状況等を踏まえ決定されていると認識しております。本市につきましては、平成23年2月策定の「窓口サービス提供のあり方」において定めた方針に基づき、サービス提供拠点の整備を進めてきたものです。

## ■廃止後の方向性(案)に関する意見(2件)

(意見81)

送迎保育ステーションへの転用活用を提案します。

送迎ステーションとは、駅前などの利便性の高い場所に設置され、複数の保育園への送迎、それに伴う保育活動を行う事業です。朝や夕方に園児が在籍する園に登園するまでの間や降園してから保護者が迎えに来るまでの間に一時預かりを行います。

出勤時間と保育園の預かり時間が合わずに就職できなかつたり、自宅から駅までの間の保育園に入れず遠回りしなければならない子育て世代は少なくないと思います。

また、一時預かりにより、買い物時間の時短や密の回避にも繋がります。

(意見 8 2)

送迎保育ステーションへの転用を希望します。

一時預かり保育だけではなく、近隣または市内の保育への送迎を行うことで、子育て世帯への支援及び主に母親の就労支援となります。

また、駅から遠い郊外の保育施設の有効活用も可能です。ご検討をお願いいたします。

(市の考え)

市民ギャラリー等の廃止・移転に伴う、空いたスペースにつきましては、「茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）」及び「茅ヶ崎市市有財産利活用基本方針」に基づき、民間への貸付を予定しております。現状では、用途を指定し、貸付事業者を募集する予定はございませんが、今後の利活用時の参考とさせていただきます。

■廃止等にかかるメリット・デメリット（まとめ）に関する意見（1件）

(意見 8 3)

廃止にかかるメリット・デメリット（まとめ）克服した上で実施してもらいたい。メリットの中にも人権侵害と思われたら関連したこともあると思う。解決して実施してほしい。

(市の考え)

・市民ギャラリーの廃止について

市民ギャラリーを廃止・利活用した場合、公共施設は減少いたしますが、市民ギャラリーの類似機能を有する施設は近隣にあり、利用可能な枠もあるので、それらを利用していただくことで考えております。

また、利用者が活動に合う施設をご選択いただけるよう、市民ギャラリーの近隣施設を中心として、類似機能を有する施設の詳細情報について発信をまいります。

加えて、市民ギャラリー備品について、引き続き御使用いただけるよう他の近隣施設への転用を検討いたします。

また、デメリットだけではなく、市民ギャラリーと同目的を掲げる市民文化会館にギャラリー機能を集約し、分散を解消することで、多様な利用者が集結し、利用者・鑑賞者同士の交流が活発になる等、さまざまな効果（メリット）があると考えています。

・市民窓口センターの廃止について

他の窓口の案内や来庁せずに証明書等が交付可能な案内を引き続き進めてまいります。

■廃止等による効果見込額に関する意見（1件）

（意見84）

P26 撤収にかかる費用 ネスパ茅ヶ崎ビル全体とありますが、3階～5階の事であればそのように記載して欲しい。全体と記載があると他の階も含むのかと誤解してしまう。

（市の考え）

ご意見のとおり対象となる階を表示するように修正いたします。

■パブリックコメント全般に関する意見（2件）

（意見85）

当パブコメ（意見募集）のPR（啓発）を十分に行って欲しいと思います。

- （1）広報ちがさき配布 令和4年7月4日 実施期間 4年6月22日（水）～7月21日（木）ちょっと遅いのでは。これでは意見十分に出しにくい。実質15日間 それより短いとも思う。
- （2）今回のパブコメ表紙は例回のパブコメと少し異なり、見逃してしまうような気がします。
- （3）広報の記載も小さく、見逃してしまいそうです。
- （4）広報タイトル「市民ギャラリー等の利活用」では、当パブコメ内容を誤解し応募しない人も居るのではと思いたくなる。
- （5）茅ヶ崎駅前市民センター及び萩園窓口センターの廃止も記したり
- （6）廃止等方針決定後、ネスパ茅ヶ崎の今後の利活用に関する方針は実施（別に）したらと思う。
- （7）これでは形式的にパブコメを実施し無意味に思う。
- （8）出来るだけ多くの市民の声を聞けるよう実施してほしい
- （9）こういう形式でパブコメ実施するのは税の無駄遣いにならないか
- （10）当パブコメも説明会を実施して欲しかった
- （11）例回のパブコメ応募者少ない為、増える（増加）よう工夫して欲しい。

（市の考え）

パブリックコメント手続は、計画の策定や条例の制定をはじめとした市の基本的な政策等に対して、市民の皆さまからご意見をいただける重要な市民参加の機会であると認識しています。

より多くの市民の皆さまに知っていただけるよう、実施にあたっては市政情報コーナーのほか、市広報紙やホームページ、メール配信サービス、Twitter、市役所内デジタルサイネージの活用に加え、広報掲示板及び公共施設への掲示、まちぢから協議会連絡会を通しての周知等、様々な媒体や方法を組み合わせながら周知啓発しているところです。パブリックコメント手続をはじめとした市民参加の方法の実施にあたっては、案件に応じて組み合わせることで実施することとしています。参加の機会を幅広く提供することで充実を図

るとともに、引き続き積極的な情報提供に努め、周知に取り組んでいきます。

(意見86)

このパブコメは、「市民ギャラリー編」と「市民窓口センター編」を分けるべきであった。たまたま「ネスパ茅ヶ崎ビル」に「市民ギャラリー」と「茅ヶ崎駅前市民窓口センター」が入っていたためこのようなおことになったのだと思うが趣旨が違う。特に「市民ギャラリー」と「萩園市民窓口センター」を同じパブコメで行うのはおかしい。

(市の考え)

市民サービス廃止後の空きスペース等の利活用の観点から市民ギャラリー及び市民窓口センターについて、パブリックコメントを併せて実施させていただいております。

■その他の意見（6件）